



1回(昭2年卒)~
23回(昭24年卒)
卒業生2,835名



1回(明43年卒)~
39回(昭24年卒)
卒業生3,327名



1回(昭23年卒)~
74回(令4年卒)
卒業生31,017名



双鶴同窓会会報

発行〒624-0841

京都府舞鶴市字引土145
京都府立西舞鶴高等学校

双鶴同窓会

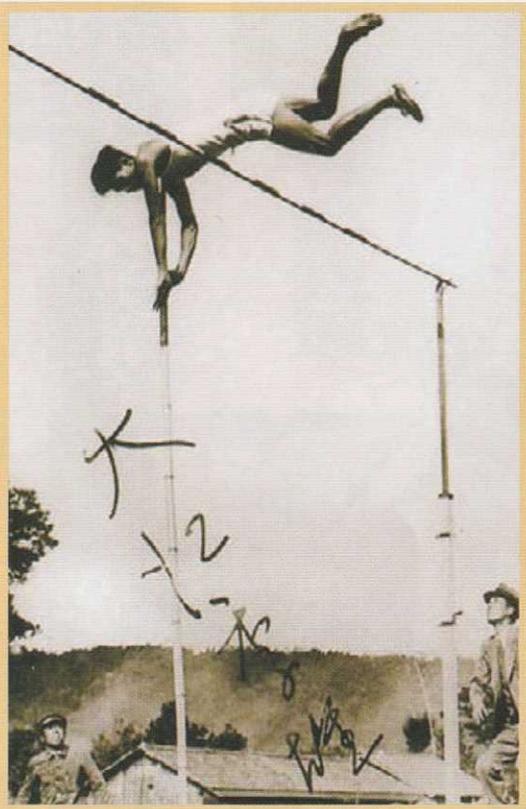
☎(0773) 75-3131

編集中西毅

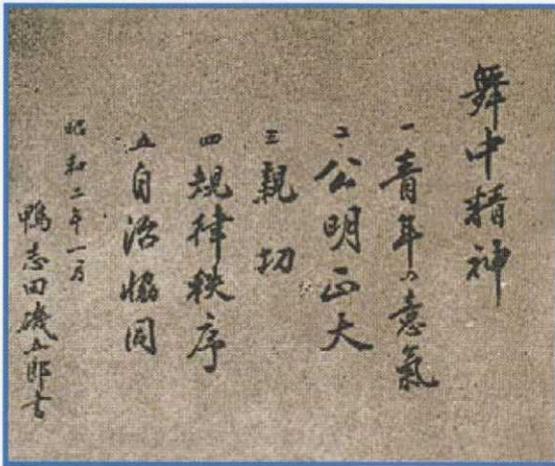
責任者松本泰

印刷オガワ印刷

京都府立 舞鶴中学校 創立100周年 1922~

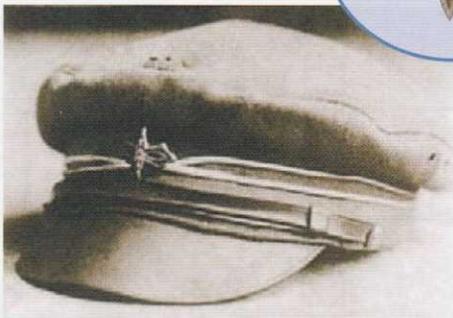


本館前にて記念撮影

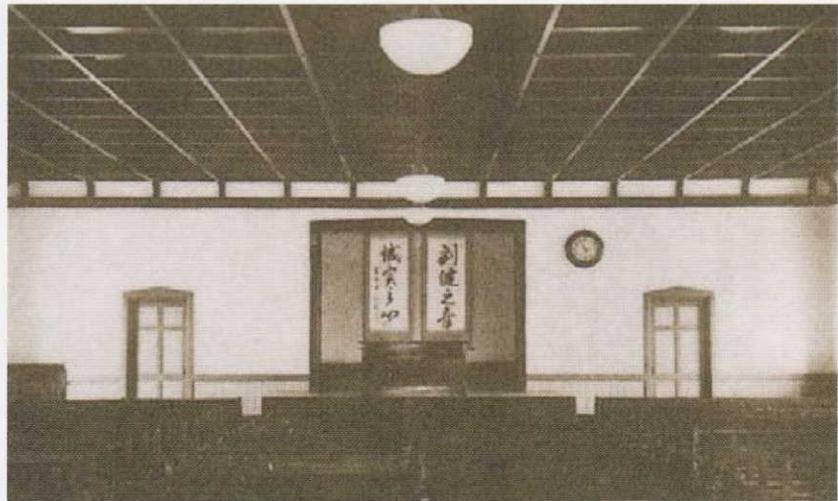


●舞中精神

22	20	19	18	17	16	14	13	12
・5	・5	・5	・6	・3	・12	・4	・10	・5
・28	・10	・1	・28	・31	・8	・1	・21	・28
創立25周年記念式典	奉安殿解体撤去	創立20周年記念式典 (3年以上勤労働員) (陸海軍部隊仮兵舎として校舎使用) (太平洋戦争終戦)	京都府立舞鶴第一中学校と改称	創立20周年記念式典 工作室竣工	校友会「致思堂」新築 (太平洋戦争開始)	舞中健児七則制定	新校訓制定	創立15周年記念式典



●校章のバッジと校章の入った帽子



●講堂

●舞中全景



応援歌

A一、愛宕の山の空高く
舞ふ白鶴の雄姿こそ
我等が意気のシンボルと
奮ひ起ちたる健男児

二、汗と血潮の熱火もて
鍛へあげたる鉄腕は
来りて触れん何者も
砕かで止まぬものなるぞ

三、敵軍いかに荒ぶとも
烏合の衆に似たらすや
我が堂々の陣容は
潮の寄する如くなり

B一、ああ舞中に正義あり
青春の児が熱血の
高打つ胸の雄叫びに
進めとなるを如何にせん

二、擲猛の意気熱烈の
魂ここに覇となりて
青空焦がす火の柱
血潮湧き立つ双が腕

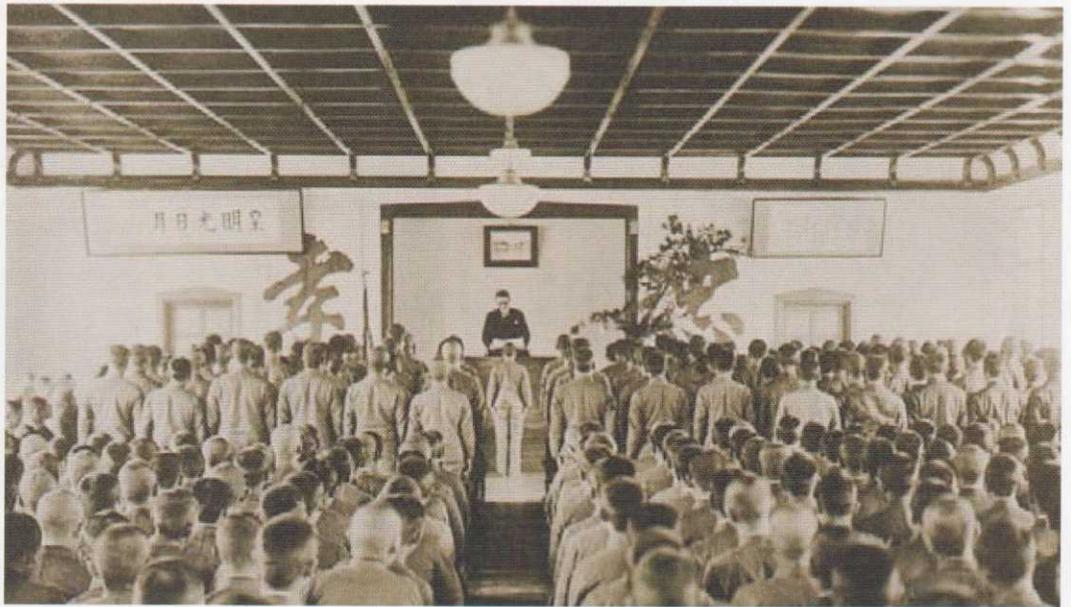
C一、朝日影照る老岳の
下に育ちし白鶴の
浩然の氣に今触れし
聞け若人の雄叫びを

二、正義に燃ゆる舞中の
健児の声は天地を
揺がし我等若人の
胸に血潮は高なれり

D一、ああ北海の一角に
清き北斗の影望み
紫匂ふ空遙か
彷彿として開けたる
日本海を思ふとき
描ける雄図我にあり

二、烈陽斜めに照りつけて
炎熱我に迫る時
若丹の覇気鬱勃と
愛宕山下の朝夕に
雄叫び高く鍛へたる
不撓の腕我にあり

三、戦はんかな時来る
光世長く空に舞ひ
天日暗く風寒し
今日勝たずんばいつの日か
如何で覇権を握るべき
必勝の意気我にあり



●卒業式



●授業風景



●合格発表

ご挨拶

舞中創立百周年を迎えて

双鶴同窓会長 内藤 行雄



鮮やかな新緑の輝きに初夏の訪れを感じる頃となりましたが、同窓生の皆様には、ますますお喜び申し上げます。また、日頃は、同窓会の諸活動に、温かいご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、大正十一年（一九二二年）四月に開校しました本校の前身である舞鶴中学校（舞中）が、今年創立百周年を迎えました。新制高校卒の私に舞中を語ることなどできませんが、先輩たちとの出会いを少し思い起こしてみます。

昭和六十二年四月、私が高校

卒業以来二十年ぶりに商業科の教員として母校に勤務することになり、同窓の先輩教員からいただいた仕事は、六月に開催される同窓会本部総会に出席される方々の名札を、毛筆で一枚一枚間違いないよう丁寧に書き、当日は、受付係としてそれを出席者にお渡しして、先輩方の顔と名前を覚えることでした。同じ十八回生でも舞中と西高では親子ほどの違いがあり、受付をする私の名札を見ながら「若いなー」「ご苦労さん」と労いの言葉を掛けていただいたことを思い出します。

総会が終わわり、懇親会が佳境に入ると、舞女、舞中、西高の

校歌、応援歌の披露となり、いっの一番に登壇され後輩たちを圧倒する元気な声で「蒼穹翔ける白鶴の...」と舞中校歌を力強く謳われるのが先輩方でした。数年前から、本部総会や支部総会で先輩方にお目にかかる機会が少なくなり、寂しさとともに、舞中から西高に校名が変わり七十数年という歳月の流れを感じています。

自分が高校生の頃、全校集会や授業の中で、よく本校の伝統（校風）という言葉を目にした記憶があります。当時はそのようなことを考えることもありませんでしたが、改めて母校の伝統について何かと考え、手許にある「舞中創立五十周年記念誌・翔鶴」と「学校創立八十五周年記念誌」に寄せられていた先輩方の当時の様子を拝見しました。舞中が創立された当時、府北部には福知山中学（現・福知山高校）、宮津中学（現・宮津天

橋高校）が既にあり、この両校に「追いつけ」「追い越せ」を合い言葉に、各部が参加する大会では大会を制覇すること、また、学業では難関校へ進学することなど、常に高い目標を掲げ、先輩後輩が切磋琢磨し一丸となつて、新しい学校づくりと文武両道に邁進される様子を窺うことができました。

我々が高校生の頃に経験した、先輩方から受けた厳しい部活指導や総体前の応援練習、作業という名のもとにおこなったグラウンド整備等々を思い起こすと、多くの仲間と過ごした我々の世代にも、時代背景こそ違え、仲間とともに何事も最後まで諦めず努力をするという「舞中精神」が、我々西高生の中に引き継がれてきたように思います。このように、本校の歴史と伝統の礎を築かれた先輩方に深く感謝を申し上げますとともに、

次代を担う若い後輩たちが、新たな学校づくりに励んでくれることを願うばかりです。

舞中創立百周年を記念して、特別な記念行事を計画することはできませんでしたが、今回発行の同窓会報に紹介されていますように、入学式や卒業式の式典の際に使用される校旗が古くなつており、同窓会から新しい校旗を寄贈しました。校旗は三月一日の卒業式で披露され、新たな歴史を歩み始めました。

結びに、新型コロナウイルス感染症の拡大は収束することなく三年目に入り、同窓会行事が思うように開催できない状況にあります。一日も早く平穏な日常が戻り同窓会行事が開催でき、懐かしい皆様にお目にかかる日を楽しみにしております。皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

ご挨拶

校長 松下 茂男



双鶴同窓会の皆様におかれましては、平素より本校教育活動に温かい御理解と御支援をいただき、誠にありがとうございます。

さて、皆様の母校である西舞鶴高等学校は、今年、加佐郡立高等女学校創立から数えて百十五年、旧制舞鶴中学校創立百周年の節目となる年を迎えています。その周年記念として、この

度、双鶴同窓会より学校のシンボルとも言える立派な校旗を寄贈いただきましたこと、心より感謝を申し上げます。

式典壇上の真新しい校旗に見守られ、全日制二三名、通信制二六名の七十四回生たちが、この春学び舎を巣立っていきました。これで双鶴同窓会の会員総数は、西舞鶴高校となつてから三一〇一七名、旧制の舞中と舞女も含めると三六八八二名と

なりました。

「究理」「尚志」「敬人」の校訓のもと、鍛えて伸ばす文武両道の校風は皆様の頃のまま。大江選手像に刻まれた「努力と友情」の西高魂を胸に鍛錬を積んで近畿や全国大会で活躍した生徒、探究的学びを進めて難関大学を突破した生徒や公務員になつて地域に貢献しようとする生徒など、それぞれに尚い志を抱き、未来を切り拓く逞しい若鶴に彼らは育つていきました。こうして年々、歴史と伝統は積み重ねられ、西高精神が在校生や同窓生のみならず地域の方々とも共有され、多くの人々の勇気や希望につながっていることを誇らしく思っております。

今、コロナ禍にウクライナ危機が加わり、私たちの住む世界は益々混沌の度合いを深めています。社会の構造や価値観が劇的に変化し続けるその余波は高校にも押し寄せており、新学習指導要領の下での新科目、生徒一人一台タブレットを活用したICTの学び、それらに伴う新たな評価が新入生の学年からスタートしています。このような時だからこそ、「不易と流行」を見極め、伝統を力に新たな西高を創造していかねばと気持ちを変化を前向きに捉えて未知なるものにも挑戦する勇気、転んでも立ち上がる回復力や他者と繋がってより良い変化を生み出す

行動力など、西高生たちが人間力をさらに豊かに逞しくできるよう、教育活動のさらなる刷新を図っていく所存です。

「中学生にとつては憧れ西高生にとつては青春 同窓生にとつては誇り」そんな西高であり続けるためにも、「さらなる高みへ」と足音を高く邁進していく全日制五七九名、通信制一三名の後輩たちの挑戦を、今後とも温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。

結びにあたり、新型コロナウイルスの一日も早い収束と双鶴同窓会の皆様方の御健勝と御多幸をお祈り申し上げます。

双鶴同窓会会計報告

令和3年度 一般会計報告書

(令和3年5月1日～令和4年4月30日)

I 収入の部 4,359,739円

項目	決算額	摘要
前年度繰越金	1,937,829	
入会金	1,016,000	@4,000×254名(全日制236名、通信制18名)
記念誌等売上	0	
寄附金	0	
雑収入	1,405,910	校旗(寄附)代立替金他 特別会計から入金1,405,894円 定期預金中途解約利息 2円 預金利息 14円
計	4,359,739	

II 支出の部 2,291,063円

項目	決算額	摘要
事業費	722,400	各支部補助、会報印刷代
会議費	0	
支部関係費	0	
通信交通費	115,565	同窓会報郵送料・専用HPサーバー・令和4年度総会連絡用ハガキ等
事務局費	18,356	卒業アルバム代、ラベルシート
特別会計へ繰入	0	
雑支出	1,434,742	香典・供花・弔電代・校旗(寄附)代立替金
合計	2,291,063	

III 残高の部 2,068,676円 (次年度へ繰越)

令和3年度 特別会計報告書

(令和3年5月1日～令和4年4月30日)

I 収入の部 10,275,978円

項目	決算額	摘要
前年度繰越金	10,275,697	
繰入金	0	
雑収入	281	預金利息
合計	10,275,978	

II 支出の部 1,405,894円

項目	決算額	摘要
事業費	1,405,894	西舞鶴高校校長へ 校旗一式寄附及び定期解約余剰金
合計	1,405,894	

III 残高の部 8,870,084円 (次年度へ繰越)

以上、報告します。

令和4年5月11日

双鶴同窓会 会長 内藤 行雄
" 理事長 渡辺 弘
" 会計 永山 隆司

令和3年度 事業報告

令和3年

4月27日(火) 第1回本部役員会 於 双鶴会館

- 令和3年度双鶴同窓会役員について
- 総会について
- 令和2年度仮決算報告について
- 会報発行の進捗状況について
- その他

6月12日(土) 令和3年度理事会・総会(10月に延期後中止)

9月1日(水) 同窓会報「双鶴」第45号発刊(一般会員向け)

9月 双鶴同窓会京都支部総会(中止)

11月 双鶴同窓会阪神支部総会(中止)

11月 双鶴同窓会東京支部総会(中止)

令和4年

1月2日(日) 高校43回生卒業30周年記念同窓会(延期)

3月1日(火) 同窓会報「双鶴」第46号発刊(卒業生向け)

会計監査報告

- 監査実施年月日 令和4年5月16日(月)
- 監査実施場所 京都府立西舞鶴高等学校
- 監査の対象 双鶴同窓会にかかる会計帳簿、収入・支出証拠書類及び預金に関すること

上記のとおり監査を行った結果、帳簿、証拠書類、保管預金ともに正確に処理されており、適正であったことを報告します。

令和4年5月16日

双鶴同窓会長 様

双鶴同窓会
会計監査 上山 利彦 ㊞
会計監査 齋藤 友幸 ㊞

点描 支部 部会

(支部だより)

東京支部

二〇一八年十一月十八日東京支部総会を開催して以降、コロナ感染に苛まれて活動休止となり、残念ながら二〇二〇年は中止とし、二〇二二年も開催中止と致しました。

二〇二二年もいまだ収束が見通せない状況ではありますが、コロナ感染が収束し、平時を取り戻すことを祈念しつつ準備を進めていくこととし、会場だけは決めておく旨を支部長、副支部長と相談して、二〇二二年十一月六日(日)、新宿京王プラザホテルへ会場の予約を行いました。

今回は、「東京支部創立七〇周年記念総会」と銘打って開催する予定です。

例年に比べて準備期間は短くはなりますが、幹事のみさんの協力も得て無事に開催できるように進めて参ります。開催時には双鶴同窓会本部、各支部の方々と多くの会員に参加していただければ、と願っております。

(事務局長 澤田謙二)

阪神支部

昨年はコロナ禍のもと、阪神支部総会は中止となりました。なお、支部会則第十一条を適用

し、書面による評議会をもつて支部総会の代わりとし、総会の議案は全て承認されました。今年、コロナ禍が改善され、同窓会の開催が社会のコンセンサスを得て、機運が高まれば、阪神支部臨時懇親会の開催を考えています。

しかしながら、現在のところ臨時懇親会の本格的準備は中断しています。

話は変わりますが、近年四字熟語「不易流行」をよく目にいたします。俳人松尾芭蕉の俳諧の理念で、不易とは、「どんなに社会が変化しようとも、時代を超えて変わらない価値のあるもの」、流行とは、「社会の変化に関心をもち、時代の変化とともに変えていく必要があるもの」を意味します。

この考えは、俳諧の世界だけではなく、他の学問や文化、ビジネス、教育など、どんなことにもあてはまる考え方です。

経済界では、企業の経営理念や社訓として「不易流行」が採用されています。

また、教育界では、中央教育審議会答申の中で、「不易と流行」が引用され、教育関係者の間で使われるようになったと聞かれています。

教育関係者に対しましては、釈迦に説法で誠に恐縮ですが、西高における「不易と流行」を考えてみますと、不易は「究理・尚志・敬人」の校訓、文武両道の伝統、舞女・舞中時代から脈々と受け継がれた歴史や伝統などではないでしょうか。

また、流行は家政科・商業科の廃止、理数探究科の創設、教

育のIT化などではないでしょうか。

不易を尊重し、流行を適切な判断のもと実施することが重要であるかと思えます。

コロナ禍のもと、双鶴同窓会の中で一番熱い同窓会である卒業三十周年記念同窓会をはじめ、舞鶴本部、各支部の双鶴同窓会が二年続けて中止となっています。誠に残念なことです。

コロナ対策の不易に相当するマスク着用、うがい手洗いの励行、三密回避に努めながら、コロナ禍が収束することを願う次第です。

双鶴同窓生の皆様お体ご自愛ください。

(支部長 谷村久兒雄)

京都支部

昨年度(令和三年度)は九月に総会・懇親会の開催を予定して準備を進めておりました。新型コロナウイルスワクチン接種が進展しているとはいえ、変異ウイルスの発生等感染動向の先行きが不透明なことから、二年連続となりましたが、已む無く取り止めることと致しました。

本年度(令和四年度)につきましては、三月下旬に蔓延防止措置が全国的に解除されましたが、感染者数の下げ止まり感、変異ウイルスの拡大傾向が見られること等もあり、開催の可否について現時点では判断を致しかねているところです。安全安心な状況での開催が望まれることから、コロナの動向を見極めた上で追って別途ご連絡させていただきます。

双鶴同窓会が 新しい校旗を贈呈しました

令和四年二月二十二日、京都府立舞鶴中学校創立百周年(大正十一年開校)を記念して、双鶴同窓会が新しい校旗を西舞鶴高校に贈呈しました。校旗が新調されたのは約五十年ぶりとのことでした。

贈呈式では内藤行雄会長(昭和四十一年・高十八回卒)から、西舞鶴高校松下茂男校長に新校旗が手渡されました。

内藤行雄会長は「コロナの影響で制約された学校生活を送っていると思う。その中でも努力している姿をよく目にする。新しい校旗のもと、先輩たちに負けな学校づくりを励んでほしい。今後も同窓会として、できる限り西高生を支えていきたいと思っています。」と励ましの言葉を述べました。

松下茂男校長からは、「同窓会の皆様の思いがこもったすばらしい校旗をいただき、お礼申し上げます。新たな伝統を築くべく西舞鶴高校も前進していきます。大切に使用させていただきます。」と感謝の言葉が述べられました。

新校旗は横二二〇センチメートル、縦八〇センチメートルの大きさ。エンジ色を基調とし、中央には金糸と銀糸の刺繍で西舞鶴高校の校章が入られています。式典等の公式行事で使用されます。



いただきました。ご理解お願い申し上げます。

さて、昨年度の京都支部の具体的な活動と致しまして、従来より総会・懇親会に出席をしていただいた方及び会費を納めてくださった京都支部会員(約三百名)に、同窓会会報である「双鶴」と西高生のクラブ活動を記した「部活動特別後援会報」を郵送することにより母校の状況をご覧いただきました。

これらの会報は、西高及び双鶴同窓会のホームページに個別にアクセスすることにより閲覧することが出来ますが、「西舞鶴高校を応援しよう!」という年次横断的なLINEのネットワークが、有志により創設されており、このネットワークからでも共有可能となりました。更に西高の中学生・保護者向けの紹介ビデオ、NHK朝ドラ「おかえりモネ」に大先輩の関悦子さん(旧姓井関、昭和二十九年卒)が出演されていること、舞鶴海軍カレーパンが近畿地区のローソンで販売されていること、国の登録有形文化財に若ノ湯が登録されたこと等々、西高及び舞鶴の諸々の話題をタイムリリーに情報共有することもできるようになりました。未だ小規模ですが、情報共有の場と方法が少し広がったと思います。

世界的に有名なソプラノ歌手である田中彩子さん(平成一四年卒)のNHKへの出演、テキサス州立テキサスA&M大学で分子腫瘍・脳科学の研究者をされている真下朋之博士(昭和六十三年卒)と西高生とのオンライン座談会についても情報共有

せていただきました。

多くの皆さんも同様のネットワークを持ってもらえると思いますので今後もアメーバのように輪が広がってほしいと思います。また、西高の授業にタブレットが導入されたこと聞き及びました。西高の情報発信の仕方も変わってきていると思いますので我々も対応できるようにしたいと考えております。

さて、末筆ながら、皆様におかれましては、現在一進一退のコロナ禍の今後の動向が懸念される状況下、また海外では二月下旬のロシアによるウクライナへの侵攻の連日の報道に心を痛めておられる方も多いと思われませんが、引き続き今後ともご自愛下さいます様お願い申し上げます。(事務局長 原田 易典)

通信制の会

単位制の通信制では、新しい年度を迎えて二四名の新入生が入学。転・編・再入学二十名も加わったと聞いています。通信制の学びは自学自習を基本としながら、スクーリングとレポート作成などの課題に積極的に取り組み、全員そろって卒業の日を迎えてほしいものです。

三月一日の卒業式では二十六名が卒業されました。全通合同卒業式の後、改めてL教室で行われた通信制卒業式典では、校長先生から、一人ずつ卒業証書が授与されました。ご卒業された皆さん、おめでとうございませう。自分を進歩向上させようとする、強い意志を持って、自らの人生を歩んでほしいものだと感じました。

なお、入学式、卒業式、彩雲祭(通信制課程文化祭)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年度に引き続き最小限の人数で開催されました。双鶴同窓会通信制の会では、二年に一度同窓会を開催しています。双鶴同窓会長様はじめ、校長先生、副校長先生、恩師の先生方の御出席を賜り、同窓会(総会・懇親会)を行っていただきます。一昨年の通信制同窓会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、残念ですが中止とさせていただきます。従来でしたら総会での事業報告、会計報告などが承認された後、懇親会では恩師の先生方や学友を囲んで懐かしい高校時代の思い出や近況の話などで交流を深め語り合っています。

今年度は通信制の同窓会開催となっておりますが、新型コロナウイルスの感染拡大が心配される状況が今もなお続き、収束の兆しが見えないことから、通信制の同窓会の開催は厳しいと思っています。

令和三年度の卒業生の皆さんと、同窓会費を納めていただきました新入会員の皆様には、お礼と感謝の言葉を添えて双鶴同窓会通信制の会の案内、同窓会報をお届けしました。

一日も早く新型コロナウイルス感染症が収束しますようお願いいたします。今後とも双鶴同窓会通信制の会の活動に、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

(通信制の会 岩田 護)

西舞鶴高校 母校応援ふるさと事業

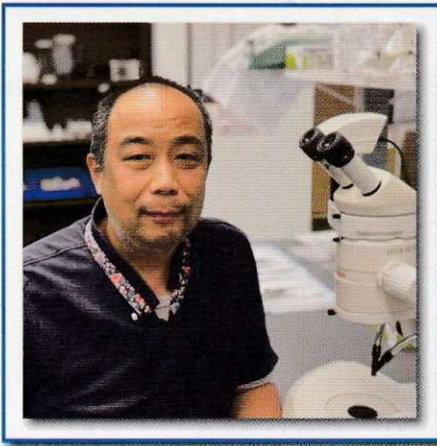
～文化系部活動に御支援を～

ふるさと納税で母校を応援しませんか

西舞鶴高校では「京都府母校応援ふるさと事業」による寄附金を募集しています。皆さまからの寄附金により、文化部活動の主な活動場所である特別教室に、冷風機等の購入を目指しています。吹奏楽部・書道部・美術部の活動環境の整備のために御協力をお願いします。なお、この寄附金はふるさと納税制度を利用しており、税控除を受けることができます。

寄附金の申込み方法は京都府教育委員会 HP へ
<http://www.kyoto-be.ne.jp/kyoto-be/furusato/index.html>





真下朋之博士が

(昭和63年・高40回卒)

後輩生徒と オンライン座談会

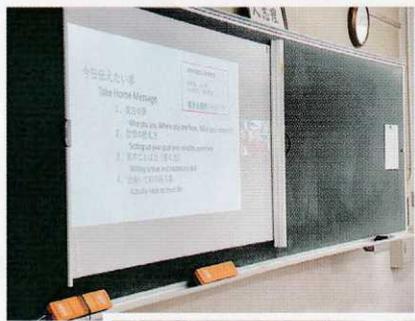
～情熱を持ち目標を見つけて～



西舞鶴高校で一月二十八日、米国在住の研究者で卒業生の真下朋之博士(昭和六十三年・高四十回卒)と生徒とのオンライン座談会が開かれた。真下博士は海外研究に至る半生を紹介され、後輩に「情熱を持って取り組めるものを見つけて」とアドバイスをされた。

真下博士は舞鶴市出身で、テキサス州立テキサスA&M大学の研究員を務めておられる。専門は分子腫瘍、脳科学。西舞鶴高校作成の冠島の動画を博士がインターネットで視聴されたことをきっかけに、生徒の進路選択に役立てる座談会が企画された。

教室では米国から真下博士が、研究者になった経緯を説明。高校時代は



「受験勉強が嫌い成績不振だった」と振り返り、高校でパンフレットを見つけた南イリノイ大学新潟校に入学。英語力を磨いて米国の本校に進学された。

「微生物学を専攻された大学生活では大量の宿題が出され、好成績維持が求められた。『好きなことだったから最後まで突っ走れた』と振り返られる。米国での研究について『日本と比べて研究予算、人脈と最新情報の質と量、共同実験施設の充実度が違う』と説明された。

真下博士は「明確な目標を設定し、いろいろな人に会って、文化や価値観の違いを知ってほしい」と語り掛けられた。

座談会に参加したのは、理数探究科と自然科学部の生徒十五人。生徒たちは、「目標の捉え方」や「出会いで知り得ること」などについての経験を踏まえたお話に感銘を受けた様子で、熱心に聞き入り、その後しっかりと意見を述べ、交流を深めた。

* 州立テキサスA&M大学 (Texas A&M University)

農業および機械技術に関する分野、海洋分野、宇宙関連分野の全ての指定を受ける全米でも数少ない大学で、調査・研究での実績は高く評価されている。高水準の学術研究と教育システムを維持するために設立された米トップクラスの研究型大学の組織である。特に、地学・石油工学、化学、農・生命工学、機械工学、産業工学、獣医学、畜産学に関する研究においての評価は非常に高い。



令和3年度 がんばってます 部活動

体 育 系

陸上競技部

- 第74回近畿高等学校陸上競技対校選手権大会
佐古田 遊 (3年) 男子400m 出場
岸田 真弦 (2年) 女子走幅跳 出場
- 第54回近畿高等学校ユース陸上競技対校選手権大会
岸田 真弦 (2年) 女子走幅跳 5位入賞

水 泳 部

- 第44回全国JOCジュニアオリンピックカップ
夏季水泳競技大会
山崎穂乃花 (3年) 200m平泳ぎ出場
- 第75回近畿高等学校選手権水泳競技大会
山崎穂乃花 (3年) 200m平泳ぎ、100m平泳ぎ出場
山崎 渚 (1年) 200mバタフライ、
100mバタフライ出場
- 第5回近畿高等学校新人水泳競技大会
森兼 晴陽 (2年) 50m背泳ぎ出場
永江 来聖 (1年) 50mバタフライ出場
山崎 渚 (1年) 100mバタフライ出場

卓 球 部

- 第75回近畿高等学校卓球選手権大会
●学校対抗
女子出場

文 化 系

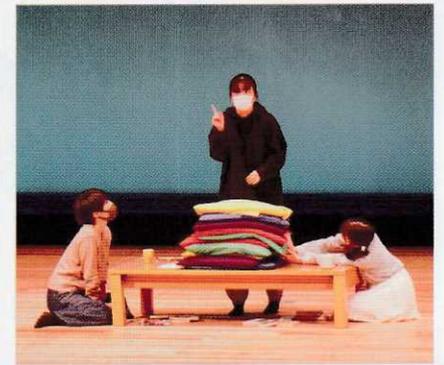
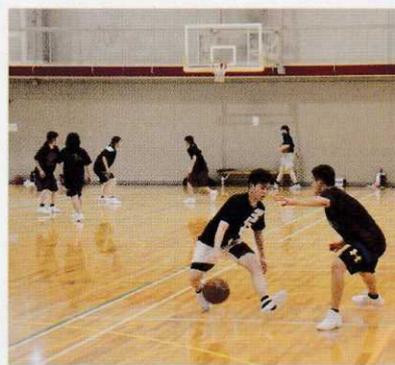
演 劇 部

京都府高等学校演劇大会両丹支部大会 最優秀賞
京都府高等学校演劇大会 優秀賞
京都府高等学校総合文化祭演劇部門 奨励賞

通信制活動報告

- ◆第56回全国高等学校定時制通信制体育大会
陸上競技大会 (全国大会)
●開催日：8月21日(土)～24日(火)
●会 場：駒沢オリンピック公園総合運動場
●出 場 走幅跳び 矢野 寧士、高梨 刀麻
- ◆第57回近畿高等学校定時制通信制課程体育大会
バドミントン競技の部 両丹予選会
●開催日：9月5日(日)
●会 場：東舞鶴高校浮島分校
●結 果 女子団体(合同チーム)「優勝」坪倉 菜穂
女子個人「第2位」坪倉 菜穂
- ◆第57回近畿高等学校定時制通信制課程体育大会
陸上競技の部 京都府予選会
●開催日：9月19日(日)
●会 場：丹波自然運動公園陸上競技場
●結 果：走幅跳び「優勝」矢野 寧士
- ◆第57回近畿高等学校定時制通信制課程体育大会
バドミントン競技の部 京都府予選会
●開催日：9月20日(月・祝)
●会 場：東舞鶴高校浮島分校
●結 果：女子団体(合同チーム)「第2位」坪倉 菜穂
- ◆第57回近畿高等学校定時制通信制課程体育大会
陸上競技の部 (近畿大会)
●開催日：10月31日(日)
●会 場：紀三井寺公園陸上競技場 (和歌山)
●結 果：走幅跳び「第2位」矢野 寧士
- ◆第16回京都府高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会
●開催日：9月9日(木)
●会場：京都府総合教育センター
●結 果：優秀賞一席(第2位・京都市教育長賞)
高梨 刀麻





卒業生の進路状況

同窓会員の皆様には、本校の教育活動とりわけ進路指導に対して御支援をいただき、誠にありがとうございます。昨年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受ける入試となりましたが、今までの「西高」の伝統に違うことなく、多くの生徒が惜しみない努力を続け、進路実現を果たすことができました。

就職では学校紹介による民間企業に2名が内定しました。長引くコロナ禍にも関わらず、舞鶴市を含む京都府北部地域の多くの事業所から求人票を御送付いただき、誠にありがとうございます。公務員では京都府職員、舞鶴市役所、京都府警察、税務職員に4名が内定しました。本校は2年次より社会保険労務士など外部講師を招聘し、公務員試験対策講座、社会人電話応対講座、労働法規に係る学習会などを通じて、職業観や勤労観を醸成し、社会人としての自覚を促す機会としています。

進学では国公立大学にのべ53名が合格しました。この国公立大学の合格者のうち78・8%の生徒が3年間部活動を続け、進路実現を果たしました。基本的な生活習慣を確立し、学習に真摯に取り組む傍ら、休み時間や通学時間を上手に

活用する姿が見られました。京都大学、大阪大学などの難関大学にも5名の合格者を輩出しました。第一志望突破に向け、安易に妥協しないこの姿勢こそ、西高の校訓「究理・尚志」そのものでもあります。また、私立大学でもいわゆる関関同立にのべ25名が合格しました。また、京都産業大学にのべ24名、龍谷大学にのべ54名、近畿大学にのべ26名が合格するなど、主要大学にも多くの合格者を輩出しました。



母校Report

本校卒業後、多くの生徒は故郷を離れますが、将来は帰郷し、地域の活性化に向けて、一層貢献して欲しいと願っています。また、生徒には崇高な理念を抱き、社会の変化に臆することなく、校訓の「敬人」が謳うように共生社会の実現に向けて、協働・共感の姿勢を一層育んで欲しいと感じています。

会員の皆様には、このような時期でもありますが、後輩たちにこれまでと同様の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

進路指導部長
柏野大樹

*進路決定先

進学 (228名)			就職 (5名)			
大	短大	専各他	舞鶴市	府内	府外	公務員
179	8	41	2	0	0	3

京都府立西舞鶴高等学校
双鶴同窓会会則

- 第1条 本会は双鶴同窓会という。
 - 第2条 本会は本部を西舞鶴高等学校におく。会員多数在住の地には支部を設けることができる。
 - 第3条 本会は会員の教養を高め、相互の親睦を図ると共に母校の発展を援助することを目的とする。
 - 第4条 本会は次の会員および客員を以て組織する。
 - 1. 会員 (イ) 舞鶴高等女学校、舞鶴第一高等女学校卒業生
 - (ロ) 舞鶴中学校、舞鶴第一中学校卒業生
 - (ハ) 西舞鶴高等学校卒業生
 - (ニ) 以上の学校に在学したもので入会を希望する者
 - 2. 客員 1項に該当する学校の旧職員および現職員
- 第5条 本会の目標達成のため委員会をおくことができる。委員長には副会長の一人を充てる。
- 第6条 委員会および支部の会則は別に之を定める。
- 第7条 本会に次の役員をおく。
- 1. 会長 会員の中より総会で選出する。
 - 2. 副会長 理事の中より若干名を選出する。
 - 3. 理事長・副理事長 理事の中より各1名会長が委嘱する。
 - 4. 庶務理事・会計理事 学校より推薦された若干名および評議員より若干名を会長が委嘱する。
 - 5. 理事 評議員の中より適当数会長が委嘱する。
 - 6. 評議員 各学年において互選により適当数を選出する。
 - 7. 監査 評議員の中から2名選出する。
- 第8条 役員は次の通りとする。
- 1. 会長は本会を代表し会務を総理する。
 - 2. 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはこれに代わる。
 - 3. 理事長は会務全般を処理する。副理事長は理事長を補佐し理事長事故あるときはこれに代わる。
 - 4. 庶務理事は庶務を処理し、会計理事は会計を処理する。
 - 5. 理事は理事会において総会附議事項を審議する。
 - 6. 評議員は総会で総会附議事項を審議する。
 - 7. 監査は会計を監査する。
- 第9条 役員は任期は2ケ年とする。
- 第10条 本会に顧問若干名、参与若干名を置くことができる。
- 顧問に西舞鶴高等学校長その他適当な学校関係者を会長が委嘱する。
- 参与に元会長を会長が委嘱する。
- 第11条 本会の経費は会費およびその他収入をもってこれに充てる。
- 第12条 本会の入会に際しては会費4,000円を納める。
- 第13条 本会は第3条の目的を達成するため次の事業を行う。
- 1. 会員名簿および会報の発行
 - 2. 会員の慶弔および慰問
 - 3. その他必要な事業
- 第14条 本会は毎年1回総会を開く。総会は理事、監査、評議員で構成する。
- 第15条 会員は転居等の変動を遅滞なく本部に報告するものとする。
- 第16条 本会会則の変更は総会の決議による。
- 付則
- ①改定：第14条末尾の「部会」は毎年1回これを開く。」を削除する。(平成21年6月13日)
 - ②改定：第5条、第6条、第7条、第8条、第14条、第15条を改定する。(平成24年6月9日)
 - ③改定：第7条4項を改定する。(平成28年6月11日)

双鶴同窓会各支部役員

【東京支部】

支部長 増本 治 夫 (昭34高)
 事務局長 澤田 謙 二 (昭48高)
 「事務局」〒216-0035
 神奈川県川崎市宮前区馬絹4丁目18番14-201号
 藤和宮崎台コープ(澤田)
 TEL 080-1025-3695 (携帯)
 メールアドレス jury-22@lagoon.ocn.ne.jp

【京都支部】

支部長 齋藤 敏 明 (昭36高)
 事務局長 原田 易 典 (昭48高)
 「事務局」〒520-0246
 滋賀県大津市仰木の里3-15-6 (原田)
 TEL 090-7879-2441 (携帯)
 メールアドレス harada.kkvp@gmail.com

【阪神支部】

支部長 谷村 久 兒 雄 (昭42高)
 事務局長 坂 根 章 二 (昭48高)
 「事務局」〒586-0021
 大阪府河内長野市原町4-8-1-712 (坂根)
 TEL 0721-56-7124 (自)
 メールアドレス oyajicch-s@docomo.ne.jp

【通信制課程役員】

◎通信制の会会長 岩田 護 (平9通) 本部・理事

双鶴同窓会本部役員

会 長 内藤 行 雄 (昭41高)
 副会長 南部 正 治 (昭51高)
 志摩 敏 樹 (昭56高)
 左織 美 紀 恵 (昭56高)
 佐古田 政 彰 (昭58高)
 理事長 渡 辺 弘 (昭48高)
 副理事長 林 博 之 (昭59高)
 庶務理事 米山 隆 一 朗 (昭51高)
 (ホームページ担当)
 森 宏 昭 (昭56高)
 中西 毅 (昭49高)
 阪 昌 代 (昭61高)
 土 師 千 穂 (昭62高)
 木 南 成 明 (平19高)
 河 合 美 咲 (平28高)
 会計理事 白 井 俊 博 (平19年)
 監 査 上 山 利 彦 (昭41高)
 齋 藤 友 幸 (昭43高)
 顧 問 松 下 茂 男 校 長
 奥 本 有 紀 全 日 制 副 校 長
 金 井 克 彦 通 信 制 副 校 長
 奥 野 久 美 子 事 務 長
 参 与 南 房 夫 第 8 代 会 長 (昭32高)

双鶴同窓会ホームページ

<http://www.soukaku.com/>

寄稿のお願い

同窓会報に原稿をお寄せください。「同期会などの様子」「同窓会員の
 御活躍の様子」など文章や写真でお寄せください。
 西舞鶴高等学校双鶴同窓会「会報編集係」までよろしくお願ひします。

編集後記

コロナ禍に見舞われて三度目の春。同窓会活動も中止や延期を余儀なくされている昨今ですが、多くの方々のご協力をいただきたき、双鶴同窓会の第四六号会報を発売できる運びとなりました。会長様や校長先生をはじめ、各支部長様など寄稿下さった皆さまに感謝申し上げます。

本年は、大正十一年の舞鶴中学校創立から百周年の節目となることから、今回の紙面で大きく取り上げさせていただきました。

また、昭和六十三年本校卒で現在は米国のテキサスA&M大学の研究員を務める真下朋之博士の紹介記事も掲載いたしました。同窓生の活躍を感じていただければ幸いです。

私たち平成三年卒業生は、本来は年始に開催するはずだった三十周年同窓会を、未だ実施できていません。しかしながら、会報の編集作業を通じて母校の歴史に触れることが出来うれしく思います。同窓生の皆様にも、同じ思いを感じていただければ幸いです。

編集委員 (平成三年卒業) 松本 泰